

浜崎地区にまつわるストーリー 浜崎は、町人と武家が共存している場所でした。

城下町

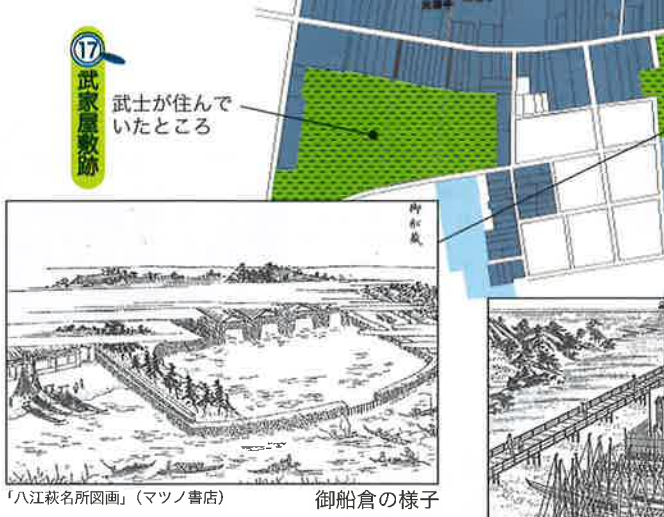
毛利輝元が慶長9年(1604)に、城と城下町の建設を始めます。その頃にはすでに浜崎の町は存在していたようです。

この萩城下図には、「萩城」・「須崎」・「土屋敷」・「町屋」の名だけが書かれており、その位置から「須崎」が「浜崎」であることがわかります。

慶長元年間頃(1615～1624)を描いた萩城下図(萩博物館所蔵)



江戸時代末期の浜崎の復元図



萩藩の町、浜崎

藩主の御座船や軍船を納める「御船倉」や浜崎と周辺の漁村を治める「浜崎宰判」という役所があり、浜崎と萩沖に広がる7浦7島を治める藩の重要拠点となっていました。

萩藩の町、浜崎を巡る

①御船倉と浜崎宰判 ④御番所跡 ⑥門町と蔵屋敷跡 ⑦門跡 ⑪浜崎宰判跡 ⑫住吉神社 ⑬武家屋敷跡

ちよっと足を伸ばして

町人の町、浜崎

大量の荷物を船で運ぶ「回船業」を営む人々や、生活物資を商う人々、水産業に関わる人々、船大工などが多く住んでおり、藩の経済を支える町として賑わっていました。

「八江秋名所図画」に見られる浜崎魚市場(マツノ書店)

町人の町、浜崎を巡る

③港町の建物 ⑤浜崎魚市場 ⑦門跡と本町筋 ⑧旧山村家住宅 ⑨旧山中家住宅 ⑩須子家住宅と町人文化 ⑫住吉神社 ⑬浜崎新町と水産加工業 ⑭梅屋七兵衛旧宅 ⑮吹上通り ⑯泉福寺

③港町の建物

武士が住んでいたところ

物品回漕店の様子(明治20年頃)

「山口県家商早見便覧」(『明治期山口県商工図録』所収、マツノ書店)

物品回漕店の様子(明治20年頃)

住吉祭りの様子

「八江秋名所図画」(マツノ書店)

住吉神社

⑫住吉神社

武士が住んでいたところ

⑬武家屋敷跡

御船倉の様子

「八江秋名所図画」(マツノ書店)

汽船荷揚げの様子(明治20年頃)

「山口県家商早見便覧」(『明治期山口県商工図録』所収、マツノ書店)

浜崎宰判が治めた7浦7島

①見島 ②相島 ③尾島 ④大島 ⑤肥島 ⑥越ヶ浜浦 ⑦小畑浦 ⑧大井浦 ⑨三見浦 ⑩玉江浦 ⑪鶴江浦 ⑫浜崎浦

海と川とを間近にひかえた浜崎は、江戸時代には萩城下の港町として栄えました。浜崎が港町として開発されたのは、江戸時代の初めごろと言われています。

町人のぼり(洪水や火災の発動時に持つ旗)

「萩川々洪水防止法」山口県文書館蔵

「萩川々洪水防止法」山口県文書館蔵

「萩川々洪水防止法」山口県文書館蔵

施設のご案内

浜崎町並み交流館 内部までご覧になれます!!

旧山村家住宅

表屋造りと呼ばれる上方の建築様式を取り入れた大きな町家。土間や土蔵では、浜崎伝建地区や家々に伝わるおたからを紹介する展示が充実。

旧山中家住宅

背の高い外観が特徴の昭和初期の町家。浜崎のおかあさんたちが常駐。引札の展示や手作りの布小物、絵葉書など浜崎グッズも販売。

住所:〒758-0022 山口県萩市浜崎77
電話:0838-22-0133 (山村・山中共通)
時間:9:00～17:00 (管理人常駐)
定休日:水曜日・年末年始

その他の見学可能施設

①旧萩藩御船倉* ②旧小池家土蔵* ③住吉神社 ④梅屋七兵衛旧宅 ⑤泉福寺

*内部を見学したい方は、旧山村家・旧山中家の管理人まで一声おかけ下さいませ!

浜崎季節暦

春 夏 秋 冬

春のシラス漁と浜干しの風景

稲荷祭り(5月)

浜崎伝建おたから博物館(5月第3日曜)

住吉祭り

萩城下二大祭礼のひとつとして親しまれてきた住吉神社の夏祭り。8月3日には神輿や御船などの山車が市中を巡行し奉納されます。

浜崎伝建おたから博物館

古い家並みを歩きながら、開放された旧家に展示された代々伝わるおたからをご覧ください。毎年5月第3日曜日に開催。

住吉祭り

萩城下二大祭礼のひとつとして親しまれてきた住吉神社の夏祭り。8月3日には神輿や御船などの山車が市中を巡行し奉納されます。

ガイドのご案内

浜崎しっちゃん会

浜崎しっちゃん会のガイドがご案内いたします!

所要時間/約1時間～1時間半 ガイド料/有料(要予約) 受付時間/9:00～16:45
申込み・問合せ/浜崎しっちゃん会 TEL 0838-22-0133 (旧山村家住宅、水曜日定休)

H30.3 現在

編集 発行 浜崎しっちゃん会

萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業実行委員会

平成29年度文化庁文化芸術振興費補助金(文化遺産総合活用推進事業)

文化庁 AGENCY FOR CULTURAL AFFAIRS

萩まちあるきマップ

港で栄えた商家町

しっちゃんかい? 浜崎マップ

浜崎は、萩の三角州の北東のはし、阿武川下流の松本川が日本海に注ぐ河口に開けた町です。海と川とを間近に控えた浜崎は、萩城下の港町として栄えました。藩政期には、主に回船業を営む人々、酒、味噌、醤油などの生活物資を商う人々、魚市場を中心とした水産業に関わる人々が住んでおり、藩の経済活動を支えるとともに、北前船も寄港し、大いににぎわっていました。また、藩の御船倉ほか近くの漁村や島々を治める浜崎宰判もありました。

海や船との関わりの中で栄えた町並み、部戸や虫籠窓の町家、浜崎の町人たちが自ら勧請した海上安全の守り神・住吉神社、船道具やはかり、引札といった商いの道具や品々が今も大事に伝えられ、国の重要伝統的建造物群保存地区にも選定されている浜崎を歩いてみませんか。

浜崎へのアクセス

◆東萩駅から

徒歩15分。
駅から萩橋を渡り、右折。松本川沿いを進む。

◆萩バスセンターから

まあるバスを利用(東回りコース)
御船倉入口、もしくは定期船のりば入口で下車

◆萩博物館から

博物館より徒歩15分
城下町より寺町を抜けて徒歩10分

このマップは萩まちじゅう博物館の各エリアのおたからを紹介するマップとしてシリーズで発行しています。詳しくは萩データベースでチェック!!
machihaku.city.hagi.lg.jp/db/

Hagi Machi juu Hakubutukan

萩まちじゅう博物館

しゅらわがわ？ 浜崎マップ

浜崎重要伝統的建造物群保存地区

萩・浜崎

萩城下の港町として栄えてきた、浜崎。日本海に面することから、物資の流通や販売、水産業などに携わる人々にぎわい、古くから萩の経済を支えてきました。現在もその町並みは健在で、平成十三年十一月には、全国で六十番目の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。

梅屋七兵衛旧宅

幕末に活躍した豪商 梅屋七兵衛の晩年の旧宅。七兵衛は藩の武器を買い入れる命を受け、上海から命がけでイギリスの鉄砲千丁を持ち帰り、幕府との戦いに貢献しました。明治14年頃に建てたこの家で茶道などに親しみ、穏やかな晩年を過ごしました。



幕末の科学者

萩のお土産「萩ガラス」そして、食べるとビックリ!? 「幕末パン」をつくったという科学者 中嶋治平の旧宅地です。萩でのコレラ流行を防ぎ、製鉄場の建設にかかわりました。また、船や機関車も建造しました。萩城内で初めて、蒸気機関車の模型を運転したのは彼なのです!!

浜の香り

路地の奥へ行くと…クンクン 浜の香りがする! 町並みを一歩裏手に入ると、地場産業である海産物の加工場があって、いりこ、ちりめんが干してあり、浜の香りが漂います。

14 中嶋治平旧宅地

萩のお土産「萩ガラス」そして、食べるとビックリ!? 「幕末パン」をつくったという科学者 中嶋治平の旧宅地です。

ちりめんが干してあると潮のいい香り

あの山は…もしかして?

住吉神社の横から菊ヶ浜を見てください!! ポコッと山が見えませんか? そうです! 萩城跡のある指月山が見えるのです。

萩・日本海大花火大会

萩の夏の風物詩、花火大会。住吉祭りに合わせ、毎年8月1日に盛大に行われます。ここは大きな花火が真上に見えるビュー・ポイントなんです!

離島航路

この先→日本海には7つの島があります。浜崎とこれら7島は江戸時代、御船倉に代官所を置く浜崎宰判の支配下にありました。萩商港からは、3つの島に定期船が出ています。

- ◎大島航路→25分
- ◎見島航路→75~105分
- ◎相島航路→40分



萩商港

① 公共駐車場は町並みの中にはありません。旧山中家住宅におたずねください。

浜崎の卸売市場

春と秋の平日(主に午前中)にはシラスの競りが行われています。競り落とされたシラスは、すぐに加工場に運ばれ釜揚げ・浜干しに。

つながってるの?

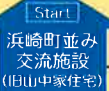
平入の古い町家が連続して残っていて、いくつ家が繋がっているの!? 数えてみよう!! 綺麗に揃った底が見られるよ。江戸から明治にかけて、魚問屋と廻船問屋を営んでいました。

古い建物がいっぱいの浜崎

浜崎には他にもたくさん伝統的な町家が残っています。浜崎伝建地区内には、伝統的建造物として指定された建築物が138棟あり、そのうち、江戸の建物が約40棟、明治の建物が約48棟、大正・昭和の建物が約50棟もあります。今も住まわれている家が多いですが、年に1度の「浜崎伝建おたから博物館」(5月下旬)では、通りに面した町家を見せてもらえる家がたくさんあります。

港の商家町おすすめコース

徒歩: 約1時間
ガイド付: 約2時間



- 1 旧萩藩御船倉 2 旧小池家土蔵 3 中村家 4 柏村家 5 広家 6 藤井家 7 青藤家 8 池部家 9 中村船具店 10 旧山村家住宅 11 旧山中家住宅 12 須子家 13 住吉神社 14 中嶋治平旧宅地 15 田中家 16 梅屋七兵衛旧宅 17 林家 18 大嶋家 19 泉福寺 20 藤山家 21 吹上通り 22 旧萩藩御船倉



旅館 芳和荘

かつての遊郭の建物を使った旅館。中庭を囲む回廊が特徴的。お願ひすれば、見学できます。

鶴江の渡し

※市道なので乗船無料! 対岸の鶴江に船で行けます! 藩政時代、川内に入るには、2本の橋しかなかったで、渡し船が活躍していました。なんと! 今でも現役の手漕ぎの渡し船なんです。お屋敷後は休みのになるので、時刻表を要チェック!



- | 凡 例 | | | |
|-----|----------|---------------|-----|
| トイレ | バス停 | インフォメーション | 駐車場 |
| 郵便局 | 銀行/ATM | 海産物屋 | 菓子屋 |
| 食事処 | 蒲鉾屋 | 醤油屋 | 味噌屋 |
| 酒屋 | 見どころスポット | 重要伝統的建造物群保存地区 | |

イラスト: 田淵満彰 原案: 九州大学芸術工学府都市環境設計研究室 (村上佳代)